

stories



広報 かわねほんちょう

「待ってる、世界」

皆さんいつも応援ありがとうございます。大村朱澄あきです。中国で開かれたアジア競技大会に出場しました。精いっぱい挑みましたが目標とする金メダルに届かず、くやしい思いをしました。今後は、来年8月の世界選手権に向け、課題克服のため練習に励みます。世界選手権は、ロンドン五輪出場枠に大きな影響を与える大会です。力の限り挑戦します。

大村朱澄（早稲田大3年）

特集

「わたし」らしく

それぞれの胸にきらめく勲章

This Month HighLight

駆け抜けた「サムライ」

第11回静岡県市町対抗駅伝競争大会・12月4日

This Month HighLight

「落ちない大石」を地域活性化の起爆剤に

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合と中部電力株大井川電力センターのコラボレーション

2011

1

No.63

幾多の困難を乗り越えて「今」の川根本町がある ピンチをチャンスととらえ、元氣再生を図りたい

町の風土に根ざした歴史、文化、産業、人の知恵など、地域資源や人材をいかに活用できるかが最も

懸念される東海地震や集中豪雨などの大災害に備え、防災対策を進めるとともに、防災訓練など地域に根ざした防災体制の確立を目

住民が主役のまちづくりを進め

ままないことを約束します。

県が進めているティーガーデン構想に沿って、富士山静岡空港から南アルプスへ向けての街道づくりを推進します。国道バイパスの整備促進を図るとともに、大井川や大井川鐵道、南アルプスあぶとラインなどを軸として、途中何カ所かに一服処のような場所を設け、特産品の紹介や販売、飲食の提供などができるようにしたいと思

大切です。これからは農商工観光一体となった、いわゆる6次産業化を進めたいと考えています。将来の町を担う「人材育成」は、まちづくり施策の中でもきわめて重要な位置を占めるものです。小学校、中学校のあり方を真剣に議論しなければいけませんし、川根高等学校が将来にわたって存続でき

指していきます。医療福祉の分野では、今後も各種予防接種や健康教室など、予防や保健に力を注いでいきます。子育てから高齢者福祉にいたるまで、安心して暮らせるまちづくりを目指していき

町のはかにもNPO法人などの組織づくりや人材育成などにも目を向けてい



寸又峡など観光分野の活性化を



川根高等学校の将来にわたる存続を

1 地域の元氣再生

町政懇談会では活発な意見をありがと

の真剣な表情に身が引き締まる思いがしました。限られた時間ではありましたが、厳しいご批判や励ましの言葉、地域産業を懸念する声や情報通信基盤整備事業に関するご意見なども多数いただきました。これらの意見を参考にしながら、今後の町政を進めてい

で推移しています。厳しい経済情勢が続く中、川根本町はこれからどんな町を目指していくの

this month
HighLight

1
今月の注目

2011年のまちづくり「考」
川根本町長 佐藤公敏

Satoh Kimitoshi

特集 それぞれの胸にきらめく勲章

「わたし」らしく

この冬、注目の人を紹介する『特集「わたし」らしく』
ウオーキング、陶芸、スポーツ、生業（なりわい）…
暮らしの中で「生きがい」を見つけ
心の豊かさに結びつけて、自分らしく毎日を送る
そんな人たちにスポットを当てた

茶とゆずの複合農業に取り組む

庭から、柑橘系の甘酸っぱい香りが漂ってくる。胸いっぱい吸い込みたくなるその香りの正体は、出荷を目前に控えた「ゆず」だった。

農業経営統計調査に長年協力した功績が認められ、農林水産大臣から感謝状が贈られた野口直次さん。茶とゆずの複合農業に取り組んでいる。ゆずは12月上旬から冬至までが出荷の最盛期。庭先の倉庫には、出荷を待つコンテナや段ボール箱が高々と積み上げられていた。

直次さんは20年ほど前、役場の勧めで茶と平行してゆずの栽培を手がけ始めた。「そのころ、わさび、自然薯、ゆずなど作物ごとの部会が生まれ、お茶ブラスアルファの『複合農業』が始まったんです。役場が熱心に指導してくれたおかげで、ゆず部会は軌道に乗り、数年前には組合を立ち上げるまでになりました。現在、

失敗も成功もあるから農業は面白い

農業経営統計調査の記帳農家として長年の貢献

農林水産大臣感謝状を授与された

野口直次さん(水川)

農業経営統計調査

約10人の組合員が、熱心にゆず生産に取り組んでいます」。

組合では近年、生産だけではなく、加工食品の開発にも乗りだしている。「川根ゆずは、まだまだよちよち歩きの赤ん坊のようなもの。世間の認知度は高くありません。今取り組んでいるマーマレードや酢、ジュースなどの加工食品も、販路開拓の一つの可能性です。幸いなことに、会員の元には大手スーパーや温泉施設などからの引き合いも入ってきているようです。これからもっと手をかけ暇をかけ、丁寧なゆずを育てていく必要性を感じています」。

農業の元気はまちの元気

近年では、地産地消の考え方が世間に広まり、地元で生産される食材を見直す動きが活発化している。消費者が「安心して口に入れられる食べ物」を求める傾向が強まっているのだ。このため出荷の際には、パッ

ケージにバーコードを付けるべきという指摘を受けたこともあると言う。「健康ブームなども影響し、全国的にゆずの生産地が増えてきているようです。今後、産地間の競争も激しくなっていくかもしれません。わたしたちも、もっと勉強しないと」。

お茶もゆずも、多くの人の協力や先人の努力があったから『今』が成り立っていると熱心に語る直次さん。感謝の気持ちが顔をのぞかせる。

「学ぶべきことはまだまだたくさんあります。失敗するたびに学び直しているようなもの。挫折も、偶然成功することもある。そうやって試行錯誤を繰り返すからこそ、新しいものが見えてくるし、やってて良かったと思えるんです。農業は本町を支える大切な産業。お茶が元気ないと、町も元気がないように見えます。これからお茶も人も、そしてゆずも、元気でいられるような町にしたいですね」と朗らかに笑った。

のぐちなおじ

出荷を控えたゆずの品質をチェックする野口直次さん。農林水産統計調査・農業経営統計調査記帳農家として、20年間にわたり貢献してきた。「農業経営統計調査の協力を続けることで、改めて記帳することの大切さを実感しています。あとになってから生きてくるのがデータ。それが残っていることで、助けられることも多いんです」と話した。

▶野口直次さんが生産したゆず。目に鮮やかな黄色。甘酸っぱい香りを発している。ゆず湯などに最適。

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

「一生は一度きり、何でも挑戦しなげや」
ピンと伸びた背すじが健康と若さを物語る
健やかウォーキングカード3枚達成者第1号

きんいち 柚本金一さん(桑野山)

健やかウォーキングカード

感謝の気持ちでウォーキング

毎朝、桑野山の土手を3往復。約40分間のウォーキングを楽しむ柚本金一さん。寒かろうと暑かろうと変わらず続けている日課だ。

「保健委員の中村晴江さんが、ウォーキングカードを勧めてくれました。歩くのはずっと続けていましたが、記録するという行為が頭の体操にもなるかなと思い、使い始めました」。4月から記録し始めたカードは半年たった10月22日、4枚目に達した。以前は筒沢（小長井）の方まで歩いていったという金一さん。地区横の

ゆずもときんいち
定年退職後、請われて宮司助勤の仕事に就く。15年勤め上げ、足を悪くしたのを機に職を辞した。毎日歩き始めたのはこのころから。交番にプラントを飾り、島田警察署長から感謝状を贈られたことも。87歳。

大井川護岸工事が完了してからは、もっぱら土手の上を歩いていると言う。「この土手はね、地区の方がきれいに草刈りをしてくれているんですよ。本当に歩きやすくてね。いつも感謝しながら歩いているんです」。

やぶられていないんだそう。ウォーキングにグラウンドゴルフ、それに加えて野菜作り、花作りにも精を出す。雨の日には、新聞紙上に紹介されるクイズに没頭する。「元来、負けず嫌いの性分ですね。とりあえずやってみたいと気が済まないですよ」と照れ笑い。若々しくて、とても87歳には見えない。

今でも用事のあるときは千頭、小長井まで自転車走らせると言う金一さん。妻みさおさんに聞くと「年をとるごとに、どんどん若返っていくみたい。いつこく（頑固）ですけれどね」と笑っていた。

一度きりの人生。何でも挑戦

自宅前には、自慢の畑が広がっている。ハクサイ、ダイコン、ゴボウ。大ぶりの野菜が所狭しと並ぶ。「ハクサイは大きくできたけれど、ダイコンは去年の方が良かったかな。毎年出来栄が違う。まだまだ勉強が足りないなと思いますね」。自宅近くのグラウンドゴルフ場にも、まめに顔を出す。かなりの腕前。最低打数20打という記録は、誰にも

健やかウォーキングカード

町民の健康づくりを応援するため、町保健委員と生活健康課が作成したカード。1日の目標歩数や時間を自分で設定し記録を付ける。1枚に計60日分の記録が書き込める。裏面は本町のイラストマップになっていて、歩いた日数分の線を塗りつぶしていくと60日で本町を1周する。カードは保健委員が交付。必要な人は、生活健康課か各地区の保健委員にお問い合わせください。



生活健康課【問】(56) 2222

力を合わせて一つの作品を

11月17日に開かれた県授産製品コンクールで、本町社会福祉協議会就労継続支援B型事業所みどりの丘が出品した陶芸「茶々と急須」が最高賞である県知事賞を受賞。12月2日、喜びにわく同事業所取材した。「現在は、来年1月に開かれる町福祉大会で記念品として配る『ふくろうの置物』の製作に取り組んでいます。利用者の皆さんが心を込めて作っています」と話してくれたのは、同事業所・サービス管理責任者の糟谷喜代美さんだ。

同事業所では普段、陶芸作品のほかに、音戯の郷で使用する聴診器の消毒や土産品の包装、雛人形の袖作り、椅子や足ふきに使うマットなどを受注・製作しているという。

この日、陶芸作品（ふくろう、ペンダントなど）を作っていたのは9人。和気あいあいとした雰囲気の中で作業は進められていた。土台となる丸めた紙を包むように粘土を巻きつけていく。その横では形を整える、部品を取り付ける、表面に絵を描くなど、それぞれの人が工程が割り振られている。真剣に作業する人、楽しそうに声をかけ合う人。年代が違、性別が違う人たちが力を合わせて一つのものを作り上げている。流れるような作業を見ていると、粘土はみるみる形を成していった。

陶芸はチームワーク。得意分野を生かしながら 世界に一つだけの作品を作り上げる 県授産製品コンクールで最高賞の県知事賞を受賞

本町社会福祉協議会就労継続支援B型事業所

みどりの丘 (上岸)

県授産製品コンクール県知事賞



「みんな得意分野がありますから、それぞれ役割が違います。どの作品も手作りだから、一つとして同じものはありません。だからこそ温もりが伝わるんです」と作業を見つめる喜代美さんの目が優しい。「受賞は励みになります。表彰式は晴れ舞台ですから。次は自分だと、みんな意気込んで作っていますよ」。今も楽しそうな声が響くみどりの丘を後にした。

みどりのおか

本町社会福祉協議会の就労継続支援B型事業所。21年4月から本川根作業所が「みどりの丘」、枝松作業所が「みどりの丘えまつ」となった。みどりの丘には現在14人の利用者が、さまざまな作業に取り組んでいる。写真後列左から3人目が糟谷喜代美さん。【問】(59) 3810





もりしたかずよし
平成8から9年に大井川地区林業研究会会長、10から11年に県林業研究会副会長。ウッドクラフト中川根やFSC認証グループF-net大井川の主力メンバーとしても精力的に活動中。平成19年、県林業指導者の知事認定を受け、後進の指導にも力を注いでいる。町林業振興対策協議会委員。

林業のエキスパートとして
シイタケ、茶、林業と「農林複合経営」を営む森下一淑さん。大井川地区林業研究会会長や県林業研究会副会長を歴任する林業分野のエキスパートだ。平成8年には地域の仲間7人とともにウッドクラフト中川根を結成。伐採から搬出、簡易製材まで共同で作業するなど、先進的な活動が注目されている。
一淑さんは県立林業短期大学卒業後、家業である林業を継いだ。「最初は『自分がやらなければ』という気持ちが強かったように思いま

林業を通して「森づくり」を実践
次代を担う後継者の育成にも心血注ぐ
森の名手・名人に認定された

森下一淑さん(文沢)

森の名手・名人（森づくり部門【架線集材】）

す。林業に30年以上携わってきたが、最近ようやく、その面白さや魅力が分かってきたような気がする」とほほ笑む。
「林業」と一口に言っても、その奥は限りなく深い。木の倒し方一つとっても、何通りもの方法がある。「ロープを使う方法、くさびを打つ方法、器具を使う方法など、木の太さや場所に応じて使い分けます。自分が思ったとおりに木を倒せたときは、本当に気持ちがいいものです」。架線集材（ワイヤーロープを用いた集材）技術に高い評価を得る一淑さん。この地域だからこそ、こだわ

らなければならぬ技術だと言う。「この地域は、天竜や静岡に比べて林道や作業道が少ないんです。急峻な地形が多いため仕方がないことなんです。だからこそ架線による集材が重要なんです。先輩方から受け継いだ技術や知識を、今度はわたしたちが次に伝えなければならぬ。今の林業従事者が担う役割だと思っています。そういった義務感や使命感みたいなものは常にありますね」。

毎日が勉強という姿勢
お茶の仕事が一段落した9・10月ごろから山仕事は本格的なシーズンを迎える。間伐などは冬場が主。寒いなんて言ってはられない。「山仕事はきつい、危険が伴うなど、マイナスのイメージがつきもの。でも幸いなことに、ここには同じ仕事をする仲間が何人もいるし、経験豊富な先輩方もいます。お互いに支え合って仕事ができることに幸せを感じています」。

この道30年。ベテランの域に達した一淑さんが「いまだに思い通りにならないことも、失敗することも多い。だからこそ毎日が勉強です」と力強く言い切った。「これから、これまでと変わらない気持ちと使命感を持って励んでいきたいですね」と語る一淑さん。木の成長を見つめる目は、限りなく優しくなった。

森の名手・名人…「もりのくに・にっぽん運動」のリーディングプロジェクト。森づくり、森の恵み、加工、森の伝承・文化の部門ですぐれた技を持つ達人を全国から選定。社国土緑化推進機構の事業。本年度は全国81人、県4人を選出。うち2人が本町の達人。

茶箱に生まれた可能性
金づちを打つ音が、昔ながらの工場に響き渡る。地元産材で茶箱を作り続ける前田製函所にお邪魔した。「実は、最近では『茶箱』としての需要はほとんどないんですよ」と宥さんは言う。
中学校卒業後、製函の道に進んだ宥さんは、父親とともに前田製函所の屋台骨を支えた。しかし、昭和50年代後半に差しかかると、軽くて安価な段ボール箱が茶の運搬・保管に用いられるようになり、木製の茶箱は、次第に姿を消していった。

55年間、休むことなく作り続けた茶箱
地元産材にこだわった、一級の「工芸品」
森の名手・名人に認定された

前田宥さん(下長尾)

森の名手・名人（加工部門【茶箱づくり】）

最盛期には、この地域に20軒あった茶箱製造所は、現在では国内に7軒しか残っていないという。
転機が訪れたのは20年ほど前。茶箱の表面に、布地やクッションなどを張り、宝石箱や衣装箱、物入れを兼ねたスツールなど、インテリア用品として活用する団体が現れた。茶箱に新たな需要が生まれたのだ。
この「装飾を施した茶箱」は、特に海外から高く評価されたという。元来の保存性の良さに加え、美しい外装が人気を呼び、重宝された。「シカゴに2千個送ったこともあるんですよ。今でもドイツなど各国で



まえだひろし
前田製函所代表。駿遠茶箱製函組合（島田、藤枝、川根、森、掛川、大東の各市町の茶箱製造所で組織）の副理事長を平成18年から今年まで務める。前田製函所で製造された茶箱は、主に「インテリア茶箱クラブ」へ出荷され、そこで装飾が施されるという。

使われています。『茶箱』ですから、お茶を入れるために使ってくれたらそれが一番ですが、別の使い道が生まれ、実際に使ってくれる人がいることは本当にありがたいことです」。

品質の高さが顧客の信頼に

茶箱は、洋服が入る大きなものから、宝石をしまう小さなもの、椅子として使える正方形のものまで、ニーズに合わせたラインナップの豊富さが自慢だ。品質へのこだわりも半端ではない。茶箱に使われるスギ材は、大井川中流域で伐採された地元産材。山主や伐採業者から直接買い付ける。仕入れたスギ材は板に挽いた後、2カ月かけて天然（自然）乾燥させるという徹底ぶりだ。

「今では単なる保管用の箱ではなく、『工芸品』としての価値が見いだされました。それだけに寸法や品質はおろそかにできないんです」。

茶箱にかける誇りが品質の高さを生み、顧客の信頼へとつながっているのだろう。需要の低迷に嘆くことなく、地道に作り続けたことで新たな可能性が生み出された茶箱。宥さんは言う。「海外に目を向ければまだまだ未知数。輸送方法などの課題はありますが、それでも可能性は無限だと思っています」。

その視線の先には、果てしなく広がる世界があった。



インテリア茶箱…木材の素材そのままの表面に布地やクッションなどを張ることで、部屋の中に自然に置いておけるインテリア用品に変身する。箱の中には薄い鉄板が張られており、防湿・防虫などの効果が高い。この装飾は外国人が始めたという。

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

アジア競技大会を終え

中国で開催された第16回アジア競技大会（広州・11月12-27日）のカヌー女子スプリント競技で銀メダル（2人乗り）、銅メダル（4人乗り）を獲得した大村朱澄さん（本町田代出身・早稲田大学3年）が11月30日、結果報告のため佐藤公敏町長を訪問。約1時間の歓談を楽しんだ。

平成15年、国民体育大会カヌー競技が旧本川根町で開催されるのを機に、町ではカヌーの普及と振興が急ピッチで進められていた。若手育成の一環として、有志のカヌークラブ「本川根カヌーレーシングチーム」が結成され、朱澄さんは小学2年のときに入会。毎日のように練習に明け暮れたという。

中学、高校時代は、常に国内トップクラスの成績を上げ、ジュニア日本代表として各国の大会に出場。「世界で戦う」経験を積んだ。

高校卒業後は早稲田大学に進学。2年のときからシニア日本代表に選出され、ジュニア時代同様、世界を転戦した。昨年カナダで開催された世界選手権にも日本代表として出場を果たしている。本町が誇るトップアスリートだ。



リートだ。

「今回のアジア競技大会では、納得のいくレース運びができてくやしい思いをしました。でもくやしいばかりではなく、収穫

と考える部分もありました。今後は来年8月に開催される世界選手権に向け、さらに練習に励んでいきます。世界選手権はその名の通り、世界中から強豪が集まる大会です。決勝に残るとい

うハードルも、アジア大会よりずっと高い。これから課題とする部分を徹底的に鍛え直し、万全の体制で臨みたいと思っています」と、朱澄さんは強い意気込みを語った。

世界への挑戦は続く

佐藤町長は「小さいころから

熱心に練習する姿を見かけていました。世界をまたにかけて活躍する朱澄さんを、町を挙げて応援しています。朱澄さんが頑張る姿が、町の人たちにも元気を与えています。これからも体には気を付けながら頑張ってください」とエールを送った。

その後、大村さんは川根高校を訪問し、カヌー部員たちと久々の対面を楽しんだ。

「進学先でもカヌー競技を続けていきたいと思っています」と、卒業を控えた3年生部員が話すと、朱澄さんは「それはすごい。自分にできることがあつたらぜひ相談して」とうれしそうに答えていた。

約1時間ほど部員との歓談を楽しんだ後、これから3年生は進路に向けて、1、2年生はインターハイで川根高校が活躍できるように精いっぱい頑張つて」とメッセージを送った。在学中にお世話になった先生たちとも対面。ひとしきり昔話に花を咲かせ、母校を後にした。

世界を見渡せば、40歳を超えて第一線で活躍する選手もざらにいるというカヌー競技。朱澄さんはまだ21歳。前途は洋々だ。「世界」を相手に、挑戦する日々は続く。

小学2年で飛び込んだカヌー競技の世界
今、日本を代表するトップアスリートに
アジア競技大会で、胸に輝く銀メダル・銅メダル

あすみ
大村朱澄さん(早稲田大3年)

アジア競技大会（広州）カヌー競技メダリスト



左ページ小／アジア競技大会の様子や現地で出会った人のことをカメラの画像を見せながら伝える朱澄さん。カヌー部員も興味津々 右ページ大／歓談後、2人でガッツポーズ。朱澄さんの好意で佐藤町長の首にメダルがかけられた。

応援してくれる人たちの顔がよく浮かんできます 一人じゃないと思えるから頑張れます

おおむらあすみ

第16回アジア競技大会カヌー競技女子銀・銅メダリスト。本町田代出身。川根高校在学時代からジュニア日本代表として数々の大会で優勝を飾る。早稲田大学進学後、めきめき頭角を現し、2年生でシニア日本代表に選出される。ロンドン五輪出場を目指し練習に励む21歳。

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

厳しい練習やハードな日程

年間だいたい200日くらい海外で生活しています。外国で1カ月間トレーニングを積んで、帰国せずに別の国の大会に出場することもざらにあります。今年の世界選手権（ポーランド）では、大会前の約1カ月間、メキシコでの高地トレーニングに励み、その後ハンガリーに移動して体を平地に慣れさせ、日本に戻ることもなくポーランドに乗り込みました。

日本代表の合宿では、厳しい練習に音を上げそうになることもあります。コーチの指示通りにできなくて、くやしい思いをしたことも一度や二度じゃありません。でもわたしは一人じゃないから。兄や仲間がいて、応援してくれる人がいて、みんなと一緒に支え合っていると思えるから、壁を乗り越えられるんです。

海外の大会を経験してたびたび感じることは「外国人との体格の違い」です。わたしは日本人の中では身長が高い方（168センチ）ですが、線が細くて…。外国人とは比べようありません。ウエイトが足りないんです。筋肉が付きにくい体質なんじゃないかなと思います。一般的に、カヌーは上半身のみを使うスポーツだと思われがちですが、実際は全身運動なんです。上半身、下半身、どちらが欠けて

もダメ。バランスのとれたトレーニングが必要です。今後、年末年始を含む約1カ月間、東京都の国立スポーツ科学センターで、自己データを分析しながらトレーニングしていきます。

昨年メキシコで実施した高地合宿では、思うようにいかないことがあり、かなり落ち込んでいました。その夜ベッドで見たインターネット。日本の高校総体（インターハイ）の速報が出ていました。カヌー競技を検索すると、なんと決勝進出校に「川根高校」の名前があつたんです。ものすごく興奮しました。頑張っている川高カヌー部員たちの顔が浮かんでくるような気がして、その後出場した世界選手権では高いモチベーションで挑むことができました。

夢へ向けて、再び「前」へ

今回出場したアジア競技大会では、金メダルを目指していました。心の中では「いける」と思っていただけに、中国の選手に力及ばずくやしい思いをしました。わたしがつとベアの北本さんをカバールでできればよかったんですが…。

でも中国との力の差を実感できたのは収穫だし、自分たちの課題もレースごとにはつきりとしてきました。

2人乗りでベアを組む北本忍さん（富山県体育協会）は、日本代

表の中でダントツの強さ。北京オリンピックでは6位入賞するなど、世界に通用する第一人者です。わたしはまだまだ北本さんに遠く及びません。筋力はもちろん、テクニックも、水をつかむタイミングも、試合にのぞむ心の強さも。わたしはまだ世界ではノーマークの存在です。でもそこに、ついている隙がある。今後、わたしたちがどれだけ記録を伸ばせるかは、わたしがどれだけ成長できるにかかっていると思います。

来年8月に開催される世界選手権は、その成績がオリンピックの出場枠に大きく影響する大会です。「オリンピック出場」という夢を実現するため、選手権には万全の体制で臨みたいと思っています。小学2年生から始めたカヌー競技。この13年間、わたしにさまざまなものを与えてくれました。夢を持つ大切さを知り、さまざまな国の空気に触れ、いろんな試合を経験してきました。中でも一番大切だと思えるのが「人との出会い」なんです。ライバル、仲間、コーチ、スタッフ、そして応援してくれる人たち。そんな出会いの数々が、いつもわたしを成長させてくれるし、心を支えてくれます。

レース前には、日本で応援してくれる人たちの顔がよく浮かんできます。感謝の気持ちで、ゴールを見つめています。

取材を終えて

大村朱澄さんは、わずかな滞在時間の中、本紙の取材に快く応じてくれた。「コーチの指示通りにできなくて、くやしい思いをすることもたくさんあります。でも、わたしは一人じゃないから。支えてくれる仲間、応援してくれる人たちがいる。みんなと一緒に頑張れるから、厳しい練習も乗り越えられるんです」と話してくれた。

今回取り上げた人たちにも、同じことが言えるような気がする。ゆず生産を手がける野口直次さんや森づくりを実践する森下一淑さんには、志を同じくする先輩や仲間がいた。みどりの丘には、共に一つのものを作り上げる仲間の輪があつた。前田宥さんや柚本金一さんのそばには、優しく見守る奥さんの笑顔があつた。

森下一淑さんが話した「支え合って仕事ができるから幸せ」という言葉が、強烈に印象に残った。

「人は一人では生きていけない」。当たり前のように使われる言葉だが、改めてその重み考えた。誰かを支え、誰かに支えられているから、人は「わたしらしく」輝けるんだと実感した。



第3区走者

神谷愛
Kamiya Ai



第2区走者

菟田紳一路
Sonoda Shinjiro



第1区走者

渡邊愛理
Watanabe Airi



第6区走者

山下富士男
Yamashita Fujio



第5区走者

小林侑介
Kobayashi Yuusuke



第4区走者

前川豊美
Maekawa Toyomi



第9区走者

前川裕音
Maekawa hirone



第8区走者

池本夢実
Ikemoto Yumemi



第7区走者

高畑剛毅
Takahata Takaki



1500mタイムレース

佐渡風香
Sado Fuuka

15



1500mタイムレース

宮島洸樹
Miyajima Kouki



第11区走者

大窪健太
Oookubo Kenta



第10区走者

鈴木龍弥
Suzuki Ryuya

9区前川裕音選手から10区鈴木龍弥選手へ。チーム川根本町全員の魂を乗せたタスキをつなぎ、ゴールを見据えて走り出す

【順位(町の部)12位】

各選手の区間タイム

渡邊愛理	15分55秒
菟田紳一路	6分36秒
神谷愛	5分34秒
前川豊美	13分58秒
小林侑介	25分33秒
山下富士男	15分43秒
高畑剛毅	12分59秒
池本夢実	11分56秒
前川裕音	18分11秒
鈴木龍弥	14分34秒
大窪健太	14分49秒
合計	2時間35分48秒

1500mタイムレース結果

宮島洸樹	5分9秒07
佐渡風香	5分48秒60

チームを支えた登録選手

大村真里奈、鈴木玲奈、杉山豪、山本忠広、梶原和、高土寿和

監督：山本銀男

コーチ：中村稔



県内35市町から40チームが参加して開催された
第11回静岡県市町対抗駅伝競走大会
強豪に負けないチームワークが自慢の川根本町は
ふるさとの誇りとプライドをたすきに乗せ
スタッフや応援団の声を背に
人波あふれる駿河路を風のように駆け抜けた

第11回静岡県市町対抗駅伝競走大会・12月4日・静岡市

駆け抜けた「サムライ」



this month
HighLight

今月の注目 **2**

【撮影協力】伊東市、富士市、伊豆の国市、伊豆市、焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、菊川市、御前崎市、小山町、吉田町、函南町（順不同）

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合と中部電力(株)大井川電力センターのコラボレーション

「落ちない大石」を

寸又峡
外森神社

寸又峡外森神社にある「落ちない大石」
その昔、天狗が降り立ったという
言い伝えがあるこの岩を活用して
地域づくりの起爆剤にと考えた
人たちがいます

起爆剤に 地域活性化の

「落ちない大石」とは

寸又峡温泉街を奥に進んでいくと、紅竹食堂を超えてすぐ右側に鳥居と参道が現れる。この参道の入口付近には絵馬がかけられ「合格祈願」「旅の無事」「家内安全」などの願いが書かれている。参道を歩き階段を登っていくと、やがて左手に見えてくるのが「落ちない大石」だ。高さ7、8メートルはあろうかという巨大な石が、山腹に絶妙なバランスで立っている。「よく落ちないなあ」と誰もが首をかしげる。この石には、古くからの言い伝えがある(左上①参照)。この言い伝えを知ってから、もう一度石を眺めてみると、何となく手を合わせたくなってしまいうから不思議だ。

落ちない大石を活用して

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合と中部電力(株)大井川電力センターとが共催して12月7日、「落ちない大石 縁日」を初めて開催した。企画の成功と無事を願い、同日午前11時から石の前で祈願祭が執り行われた。

祈願祭には組合員や中部電力職員、観光協会、観光客らが参列。神事は滞りなく進んだ。
式後、望月孝之理事長は「その昔、天狗が五穀を外森山に落としたことで、この地域ができたという言い伝えが残っている大石です。安政の大地震でも落ちなかったといわれ、この地域の守り神ともいえるべき存在です。昨年からは中部電力の協力で、地域の活性化策と一緒に考え、実行してきました。これからも大勢の人が力を合わせ、この地域の守り神であるこの石を、わたしたちの手で守っていききたい」と思いを語った。

中部電力(株)大井川電力センター 寺本達也 所長は「この落ちない大石は地域に埋もれた資源です。もつとPRすることで、寸又峡の活性化につながるかもしれない。その可能性は限りなくあると思います。これまで皆さんと一緒に試行錯誤し、汗を流してきました。この大石を広

①「天狗の落ちない大石」

寸又川の源流部、南アルプスの最先端(光岳)には、山頂付近に白く光る物体があるといわれ、人々の間では「天狗の威光」だと語り継がれてきました。

あるとき光岳の天狗は2人の山伏(黒法師・前黒法師)を伴って、大間(寸又峡)の集落に向かいました。大間の小高い杜にある大きな石の上から辺りを見渡すと、そこは畑も食べ物も極端に少ない、寒々とした場所でした。

そこで天狗は、大年神(穀物の神)を天界から呼び、麦、ひえ、あわ、きび、豆の「五穀」を持参するようお願いしました。やがて袋いっぱい穀物が、天狗の元に届けられました。それを大きな石の上にあげると、山のように盛られた五穀は、杜の外にまであふれて広がったといいます。

この場所は「外森山」と名付けられました。天狗が上ったとされる巨大な石は、断崖に何百年もとどまり続けることから「落ちない大石」と呼ばれるようになりました。村人たちはこの石を、霊験あらたかなご神体として、あがめ奉るようになったのです。

現在では、大学、高校、中学をはじめ、就職、運転免許、資格試験などの受験者や、高層建築で働く職人、塗装工、大工、植木職人など「落ちてはならない人」の守り神として祭られています。

く内外に知ってもらうことで、地域の元気づくりにつながると信じています」と熱く語った。
同日、温泉街のメインストリート上に小規模ながら縁日が登場。絵馬やストラップ、だるまなどの安全祈願グッズの販売や観光パンフの配布などを実施した。その隣では観光客に甘酒が振る舞われ、道行く人たちの心と体を温めた。
この縁日は、受験や就職シ

ズンに合わせ、12―3月の、いずれも7日に開く予定だ。
かけられた絵馬を見ると、東京都や京都府など県外から訪れ、絵馬に書き込んでいる人が多いことが分かる。
今はまだ、観光のついでに大石を見て、絵馬を書くのが一般的だ。だがいずれ「大石に願をかけるため」に人が訪れるようになるかもしれない。そんな夢がふくらんでいく。

温泉の湧出に感謝を込めて

寸又峡温泉では昭和32年の温泉湧出に感謝を込めて12月6、7日の両日「温泉供養祭・感謝祭」を開催しました。午後7時過ぎ、松明を先頭に温泉街を練り歩いた天狗・山伏行列が寸又峡イベント広場に到着すると、大勢の来場者が拍手で出迎えました。天狗が明りに火を灯すと感謝祭がスタート。厳かなムードが一転、にぎやかな雰囲気になりました。

ステージでは、赤石太鼓や中部電力アマチュアバンドによる演奏が会場を盛り上げました。バンド演奏の後に開かれた大声コンテストは、他市町からの来場者や小さな女の子など8人が参加。「おじいちゃん大好き!」など、おのおのメッセージを込めた大声を張り上げ、来場者からは大きなかけ声が飛んでいました。

場内には、猪鍋、熊鍋、鹿鍋、そばなどの味覚が並び、来場者の舌を楽しませました。催しの最後は、温泉の湧出に感謝の気持ちを込めた餅つき。できたての餅が来場者にふるまわれました。



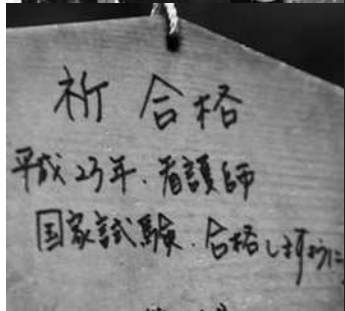
厳かに執り行われた祈願祭



縁日には観光客をもてなした



絵馬を見つめる女性たち



合格を祈願した絵馬

一つをやり遂げて「ゴール」ではない
そこから新たなスタート
やりたいことは無限にある

中部電力(株)大井川電力センター
寺本達也 所長

「寸又峡温泉を訪れた観光客が、温泉以外にも楽しめることはないか」。約1年前、本町の活性化のため、わたしたちにできることを検討する「地域活性化プロジェクトチーム」を社内に3つ立ち上げました。寸又峡チームでは、この地域の言い伝えである「落ちない大石」に着目しました。「こんなに優れた素材が埋もれていたんだ」と気付くと同時に、外の人には全然知られていないという現状も実感したためです。

チーム内でさまざまな活性化策を

検討したのち、地元組合の皆さんに提案を持ちかけました。その後、皆さんと協力しながら「落ちない大石の看板製作」「絵馬かけの設置」「参道の整備・階段設置」などを実施しました。多くの人が手を組むことで、少しずつ前に進んできました。

やりたいことは、まだまだありません。一つをやり遂げたから「終わり」ではありません。ここからまた新たなスタートです。一過性では終わらない「この地域ならではの」を追求していきたいと考えています。



寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合
望月孝之 理事長

県勤労者総合美術展作品募集



静岡県の委託を受け、県労働者福祉協議会が勤労者美術展を開催します。募集作品など要項は次のとおり。県内で働く人ならどなたでも出品できます。

開催期間 4月13日(水)～4月17日(金)

応募期間 2月28日(月)～3月18日(金)

会場 グランシップ展示ギャラリー
(J R 東静岡駅すぐ東側)

募集作品 絵画 (油絵・水彩画・版画・日本画・水墨画など)、書、写真、工芸など ※作品はすべて展示します。

【問】県労働者福祉協議会

☎054 (221) 6241

http://www.s-cnet.ne.jp/~scn00855/

狩猟免許試験(わな猟)忘れずに

平成22年度狩猟免許試験(わな猟)を実施します。忘れずに受験してください。

日時 2月6日(日) 午前9時～

会場 藤枝市瀬戸新屋362-1
藤枝総合庁舎別館2階第1会議室

免許種類 わな猟

試験内容 知識試験、適性試験、技能試験

費用 5,200円(※わな猟以外の狩猟免許を持っている場合3,900円)

申請期限 1月7日(金)

【問】

志太榛原農林事務所森林整備課

☎054 (644) 9243

役場産業課林業室

☎ (56) 2226

【測量・設計・コンサルタントなど】提出書類

1 一般競争(指名競争)参加資格審査申請書	国土交通省様式
2 営業所一覧表	国土交通省様式
3 測量等実績調書	国土交通省様式
4 技術者経歴書	国土交通省様式
5 業態調書	国土交通省様式
6 営業登録証明書	写し
7 法人－商業登記簿謄本 個人－代表者身分証明書	写し
8 納税証明書 ①町外法人…法人税または法人県民税および町内に営業所がある場合は法人町民税 ・町外個人…町県民税 ・町内法人…法人町民税 ・町内個人…町県民税 ②消費税及び地方消費税(その3様式) ※納税証明書は、その3の3様式で法人税・消費税および地方消費税の納付を証明したものの提出でも結構です。	写し
9 使用印鑑届	任意様式・原本
10 印鑑証明書	写し
11 委任状 ※委任を必要とする場合	任意様式

【物品の製造・販売、役務の提供など】提出書類

1 一般競争(指名競争)参加資格審査申請書	総務省様式
2 営業所一覧表	総務省様式
3 営業登録証明書 ※営業に關しての登録がなされている場合	写し
4 財務諸表	写し
5 法人－商業登記簿謄本 個人－代表者身分証明書	写し
6 納税証明書 ①町外法人…法人税または法人県民税および町内に営業所がある場合は法人町民税 ・町外個人…町県民税 ・町内法人…法人町民税 ・町内個人…町県民税 ②固定資産税 ※物品の製造・販売、役務の提供などでは固定資産納税証明書が必要です。 ③消費税及び地方消費税(その3様式) ※納税証明書は、その3の3様式で法人税・消費税および地方消費税の納付を証明したものの提出でも結構です。	写し
7 使用印鑑届	任意様式・原本
8 印鑑証明書	写し
9 委任状 ※委任を必要とする場合	任意様式

(注)消費税の納税証明書は、管轄の税務署で交付を求めてください。免税業者についても、未納がない旨の納税証明が発行されますので、省略しないでください。電子媒体を利用した国税電子納税証明書(e-Tax)の受け付けも可。様式は国の統一様式を使用してください(町独自の様式はありません)。

【留意事項】
① 提出書類はすべてA4サイズに揃え、提出書類の順に、なるべく細いコヨリとして提出してください(ケースファイルは不要)。
② 委任状は、提出書類の一番後ろにつづってください。
③ 申請書の「商号又は名称」には、必ずフリガナを付けてください。
④ 必要書類のみ提出してください。パンフレットなどの参考資料は不要です。

⑤ 建設工事における提出書類のうち、工事経歴書には業種ごとに主だったものを記載し、極力少量になるよう努めてください。なお測量などにおける測量等実績調書、技術者経歴書についても同様です。
⑥ 申請書類の記載事項に変更が生じた場合は、一般競争(指名競争)参加資格申請書変更届を提出してください。
⑦ 建設工事、測量など、物品製造など、別々に受け付けますので、各申請書がどの分野に該当するか明確に記載してください。変更届についても同様です。
⑧ 分野ごと、それぞれ申請書一式が必要です。一つの申請書で建設工事、測量など、物品製造などの申請を兼ねることはできません。
⑨ 建設工事の「総合評定値通知書・経営事項審査結果通知書」の有効期限は1年7カ月です。申請書提出後でも、新たに経営事項審査を受けた場合は、その写しを提出してください。

【建設工事】提出書類

1 一般競争(指名競争)参加資格審査申請書	国土交通省または中央公契連統一様式
2 総合評定値通知書 または経営事項審査結果通知書	写し ※申請日時時点で有効なものを提出してください(注)
3 法人－商業登記簿謄本 個人－代表者身分証明書	写し
4 営業所一覧表	国土交通省または中央公契連統一様式
5 工事経歴書	国土交通省または中央公契連統一様式
6 建設業許可証明書	写し
7 納税証明書 ①町外法人…法人税または法人県民税および町内に営業所がある場合は法人町民税 ・町外個人…町県民税 ・町内法人…法人町民税 ・町内個人…町県民税 ②消費税および地方消費税(その3様式) ※納税証明書は、その3の3様式で法人税・消費税および地方消費税の納付を証明したものの提出でも結構です。	写し
8 使用印鑑届	任意様式・原本
9 印鑑証明書	写し
10 委任状 ※委任を必要とする場合	任意様式

(注)総合評定値通知書・経営事項審査結果通知書の有効期限:審査基準日から1年7カ月

平成23・24年度一般競争(指名競争)入札参加資格申請の集中受付を開始します。
留意事項をよくご確認の上、受付期間をしっかりと守って総務課に提出してください。

平成23・24年度分

入札参加資格審査申請の受付を開始します

受付 1月4日(火)～3月10日(木)

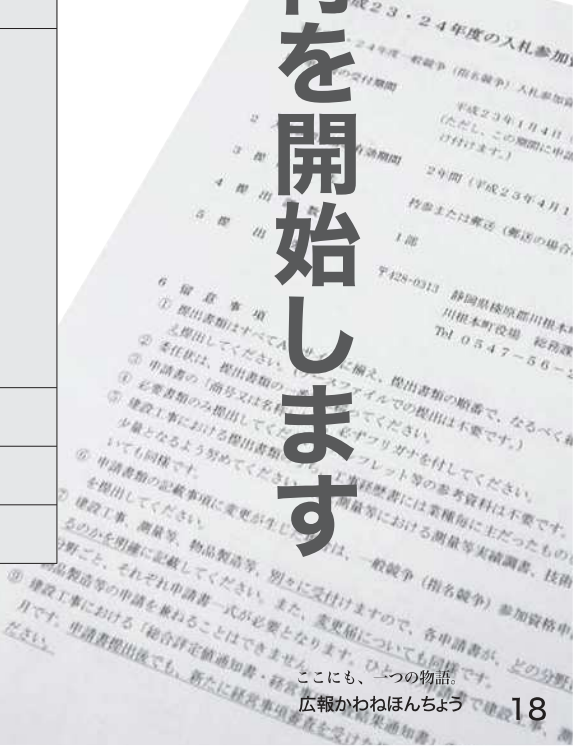
※ただし、この期間に申請できない場合は、別途追加の申請を受け付けます。

有効期間 2年間(平成23年4月1日～25年3月31日)

提出方法 申請書を持参するか郵送すること(郵送の場合は必着)

提出部数 1部

提出先 〒428-0031 静岡県榛原郡川根本町上長尾627番地川根本町役場総務課財政室



謹賀新年

本年もご愛顧いただきますようお願い申し上げます。
平成23年は、1月6日(木)から営業いたします。

「春の展示会」2月18日(金)～22日(火)の5日間を予定しております。

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 ☎56-0009



新年あけましておめでとうございます
今年も地域の皆さまに一生懸命貢献していきます
本年もよろしくお願いいたします

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2

TEL: 0547 (56) 0150

町生涯学習推進委員25人が参加して埼玉県へ

生涯学習の先進地を視察研修しました

生涯学習先進地視察研修は12月12日から13日の2日間、町生涯学習推進委員25人が参加して実施されました。今年の目的地は埼玉県川越市と所沢市。「川越蔵の会」の取り組み事例と全国的



委員の皆さんは真剣な表情で川越市内を視察しました。

に有名な「トトロの森」を視察しました。

1日目に研修した川越市では、住民有志で組織する「川越蔵の会」の設立趣旨や取り組み事例、苦労話などについて、結成当時から携わっている会員の談話を聞き、学びました。

2日目は所沢市狭山丘陵にある「トトロの森」を視察しました。ここは、スタジオジブリのアニメ映画「となりのトトロ」の舞台になったといわれている場所です。ボランティアグループに話を聞きながら施設内の見学などをしました。

古くから伝わる歴史や自然、文化を誇りに思い、後世に残そうという住民の熱意が感じられ、どの委員も心を打たれた様子でした。

9日(日) 成人式

22日(土) B & Gクラブ (島田チャンピオンスクール)

29日(土) B & Gクラブ (島田チャンピオンスクール)

今月の町民ギャラリー展示

手作り作品展 介護ホームまつおか

水難事故防止ポスター展 中部電力(株)静岡岡支店
1/14～2/10

今月の文化会館ロビー展示

①川根路絵手紙交流会の作品 川根路絵手紙の会

②ふれあいスクール作品展 生涯学習課
1/14～2/10



平成23年成人式のお知らせ

108人の新成人を、全町民あげてお祝いします。

日時 1月9日(日) 午後1時開式

式場 文化会館

内容 町長式辞、来賓祝辞、新成人の主張、中学生祝いの言葉、アトラクションなど

今月の予定

すこやか大学と小学生の交流

子どもたちが戦争の話に耳を傾けました



どの子も興味深そうに話に聞き入りました。

中川根南部小では11月11日、中川根第一小では同15日、中央小では同30日、本川根小では12月6日、各学区内在住のすこやか大学の学生が社会科の授業に参加し、太平洋戦争時の実体験を話しました。

子どもたちから「戦争中、皆さんは何をしていましたか」「学校はどんな様子でしたか」など、矢継ぎ早に質問が繰り出されると、学生たちは当時を思い浮かべながら丁寧に答えました。戦争中の苦労やB29爆撃機がわか町に落ちて大きな被害があった話などを聞いた子どもたちは、戦争の恐ろしさを改めて感じている様子でした。

未来を担う子どもたちと人生の先輩との対話は大変有意義なもので、「平和への願い」を共感し合うことができました。

すこやか大学生からは「戦争という出来事を次世代に伝えることの大切さを感じました」「子どもたちの目の輝きがいつまでも続く平和な世の中であってほしい」などの声が聞かれました。

子どもたちは授業後、「戦争に負けて良かったのかもしれない。昔の人たちの頑張りで、今の平和があるから」「運動場を耕して畑を作った話を聞いてびっくり。もっと聞きたかった」などの感想を述べました。

生涯学習のひろば

教育委員会 生涯学習課

☎ (58) 7080

鍼灸按摩マッサージ指圧治療院 (出張専門)

<http://crestviria.eshizuoka.jp/>
鍼灸按摩マッサージ指圧師

☎090—6764—0555 (直通)

受付時間: 午前9時～午後5時

<http://crestviria.hamazo.tv/>
宮下 実華

島田市川根町笹間渡602-135

介護の必要な方やご家族様が、ご自宅で「自分らしく」「安心した生活」が送れるよう「あかいしの郷 ケアマネージャー」がお手伝いします！

介護申請をお考えの方、介護サービスのご利用をお考えの方、お気軽にご相談ください。

あかいしの郷 居宅介護支援事業所
川根本町徳山1620番地の1
(お問い合わせ) 0547-57-1234



川 根 本 町 の 人 口				平成22年12月1日現在			
世 帯 数	3,059	世帯 (－1)	【45】	出 生	4 人	【0】	
総 人 口	8,485	人 (－23)	【74】	死 亡	15 人	【0】	
男 性	4,143	人 (－12)	【16】	転 入	7 人	【0】	
女 性	4,342	人 (－11)	【58】	転 出	19 人	【3】	

※ () 内は前月比、【 】 内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

■本庁代表 ☎ (56) 1111 ■総合支所代表 ☎ (59) 3111

総合的な福利厚生を目指す 島田榛北勤労者福祉共済会

島田榛北勤労者福祉共済会
明るい職場と豊かな暮らしの実現を目指す中小企業事業主と従業員およびその家族に対して、生涯にわたり総合的な福利厚生事業を提供します。
入会資格 島田市および川根本町に事業所がある中小企業の事業主および従業員。事業所単位での入会
※自営業・病院・パートタイマー含む
費用 会員1人につき入会金500円(全額事業主負担)、月会費700円(1／2を事業主負担)
事業内容 会員とその家族への慶弔給付、人間ドックなどの費用助成、宿泊施設利用助成、セミナー教室実施、ディズニーランドなど各施設利用助成ほか
【問】共済会事務局 ☎ (36) 7733

富士山静岡空港の団体利用 モニターキャンペーン実施

富士山静岡空港利用促進協議会
富士山静岡空港では団体利用モニターキャンペーンを実施しています。本空港を往復利用する10人以上の団体に1人当たり3千円(1団体当たり15万円を上限とする)を補助するキャンペーンです。
対象旅行 2月末までに出発する旅行※12月28日～1月3日は対象外とする



対象人数 静岡空港の定期便を往復利用して旅行する10人以上の団体。先着1000人。
申込締切 1月31日
【注意事項】
①バックツアー利用者は対象外となりますので注意してください。
②参加者は富士山静岡空港サポーターズクラブへの入会と、旅行終了後のアンケート回答が補助の条件になります。
③補助を受けるためには、23年1月31日までに本協議会への申請が必要となります。
④補助申請書は、富士山静岡空港利用促進協議会のホームページからダウンロードできます。
<http://www.fs-airport.com/business/monitor.html>
【問】富士山静岡空港利用促進協議会事務局 ☎054 (252) 8161

千年の学校製作のベンチ 寄贈先を募集しています

千年の学校
千年の学校「山の暮らしコース」では、町のために役立つことをしようと、間伐材を活用した木製のベンチを3体製作しました。
このベンチは、町の施設などに置き、町民の皆さんに利用してほしいと考えています。ベンチ寄贈先を募集しています。ベンチの長さは約1.8m。大人が3人から4人座れる長さとなっています。応募については、次のとおり。設置する場所や理由などを審査し、寄贈先を決定します。皆さんの応募をお待ちしています。
応募条件
①広く皆さんが利用する施設
②屋内・屋根下に設置すること
応募方法 必要事項を記載した書面を提出してください。書式や用紙は問いません。郵送、ファクスによる応募も可です。
記載必要事項 ①施設名②代表者名③連絡先④設置場所(施設内のどの場所か)⑤ベンチを必要とする理由
応募期限 1月31日 日 必着
【問・申】千年の学校事務局 役場企画課まちづくり室(本庁2階)
〒428-0313 川根本町上長尾627
☎ (56) 2221 ☎ (56) 2235



真剣に弾くそろばんの音 珠算検定の合格者を紹介

本町商工会
都道府県商工会連合会および全国商工会連合会主催による第159回商工会珠算検定は11月21日、本町商工会2階で実施されました。
今回の検定には22人が受験。結果、13人が合格しました。皆さんおめでとうございます。合格された人は次のとおり(番号順・敬称略)。
2級▶ 鈴木雄大 (本川根小6年)
中村優希 (中川根南部小6年)
3級▶ 柳原真帆 (中川根中1年)
氣田瞬介 (中川根南部小6年)
三倉 怜 (中川根南部小5年)
4級▶ 前田将貴 (中川根南部小5年)
5級▶ 藤田 匠 (中川根南部小4年)
中村拓夢 (中川根南部小5年)
6級▶ 小林麻嘉 (中川根南部小4年)
8級▶ 坂本亜由美(本川根小2年)
風間夏希 (本川根小2年)
小澤飛来 (中川根第一小4年)
中村桃春 (中央小3年)

心のコラム

川根本町自死予防対策プロジェクトチーム
わたしがチームの一員になった平成20年度。最初は「本町の自殺率が高い。しかも高齢者に多い」という話に耳を疑いました。保健師として10年以上、町の皆さんの健康づくりに力を注ぎ、「本町は元気な高齢者が多い町」と自負していました。今、お年寄りの心に何が起きているのだろう…。訪問する高齢者の皆さんの気持ちに少しでも寄り添いたいと思い、訪問のたびに尋ねました。90歳の女性は「70歳代は『先が長くないから』と思って畑も家事も趣味もとことんやった。体も動いた。こんなに長生きすると思ってなかった。今になって何をどうすればいいのかわからない。今も何かやりたい気持ちはある。でも体が動かない。生きてるって本当に大変」と話してくれました。88歳の男性は「家族は『今までよく働いてきたのだから、もう何にもしなくていいよ』って言うってくれる。でも何にもすることがないのは死んだも同じ」と話してくれました。

若輩者のわたしが「自死予防対策」などできるのかと悩みながら今に至っていますが、たくさんの人からさまざまな人生観や知恵をいただいたことは、わたし自身にとって素晴らしい宝です。高齢になったからこそ1日1日を慈しみ、丁寧に暮らす姿に、わたしたちが見過ぎていたものを見つけることも多々あります。

若い世代の人が、高齢者の皆さんの声に耳を傾けることは、双方の心を元気にする効果があるのではないかと考えています。わたしの年齢で、高齢者の皆さんの思いをすべて分かることはできません。でも高齢者の皆さんには悩みながらも生き抜いてほしいと心から思います。間違っても自死などというつらい道を選ばないでください。みんなこの町に必要な人なのです。

福祉課 包括支援センター 池本祐子



知ってください 「脳脊髄液減少症」



脳脊髄液減少症患者支援の会
子ども支援チーム
静岡代表 熊坂和香枝さん
kodomo.cfh.kuma@shizuoka.tnc.ne.jp

●脳脊髄液減少症の症状と現状

「脳脊髄液減少症」≒(脳脊髄液漏出症)は、交通事故やスポーツ外傷などによる頭部や全身への強い衝撃により脳と脊髄を覆う硬膜にダメージを与え、髄液が漏れ出し減少することで引き起こされます。髄液が減少すると、脳が下垂し、それによって神経や細胞に影響を与えることから様々な症状が発生します。症状としては、初期には起立性頭痛が主訴と言われており、頭痛、めまい、吐き気、思考力低下など様々な症状が現れます。軽微な事でも発生すると言われておりますが、十分な補水と2週間ほどの安静を保ち、様子を見て早い段階での受診をお勧めします。早期発見・早期治療が大切です。軽微な事が原因の場合は改善率が比較的高いと思われませんが、実際には長期症状を抱える方もいます。しかしこの疾患自体の社会的認識が薄いことや専門医が少ないなど、患者が診断・治療を受ける病院を探すことに苦慮しているのが現状です。

●診療などが可能な県内の医療機関

県では、「脳脊髄液減少症」に対応できる医療機関について、静岡県難病診療連携

拠点病院(浜松医科大学医学部附属病院)と県内38カ所の病院が協力して、診療およびセカンドオピニオンの実施状況について一覧表にまとめ、県ホームページで公開しています。詳しくは県ホームページ「脳脊髄液減少症について」をご覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/1040682/1024218.html>

【問】静岡県健康福祉部医療局疾病対策課 ☎054(221)3773

茶娘ちゃんカード会からポイント交換セールのお知らせ

ポイント交換セール
1月20日(木)～1月29日(土)

ポイントカードと裏面の「引換券」を茶娘ちゃんカード会加盟店へお持ちください。
300ポイントと「引換券」1枚で、500円のお買い物ができます。



墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・☎0547-56-1177
<http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177>

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
桑野山	榎田好花	女	竜也
藤川	馬場蒼友	男	清人
水川	大井南	女	茂
高郷	澤本いろは	女	英季

ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
小長井	鈴木正和	地名
	芹澤麻美	小長井
地名	小田康樹	藤川
	太田瞳美	上長尾

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
大間	望月貞子	86	静馬
寺馬	長嶋角一	81	武子
寺馬	大村きみ	99	敏夫
小長井	鈴木まさ枝	87	一晴
小長井	小田芳雄	97	政孝
青部	前田ふく	97	智士
水川	池田ふみゑ	85	和義
上長尾	道脇とり	82	英巳
瀬平	濱谷儀太朗	91	和彦
田野口	中田秋夫	78	安明
徳山	橋本房子	93	京弐
徳山	澤井幸一	73	タツエ
徳山	花村春夫	83	一夫
徳山	小田切さき	98	啓介
徳山	西田紘巳	69	稔

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。

■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課 ☎ (56) 2222

1歳になったばかりのお友達を紹介
生まれてくれてありがとう



辻森斗和依くん
H 21・12・31生 下長尾

父：宏行・母：早絵美
とおくん、おめでとう！
ばあばみたいに、元気で明るい子に育ってね☆
追伸：お父ちゃん子は、いつ卒業するのかな？（笑）

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ ☺



大森妃莢ちゃん
H 21・12・10生 田野口

父：敬久・母：佳子
Happy Birth Day ひまり。
いっぱい食べて、いっぱい笑うひまりに、元気と幸せをたくさんもらっているよ。
これからも仲良く、笑って過ごそうね♡

Birthday

川根高等学校の「今」を紹介する
学校レポーターズコラム

幼いころからの夢をかなえるために

川根高等学校3年 鈴木僚

強いあこがれの存在
蒸気機関車の機関士

わたしは高校に入学した当初から、就職を希望している企業がありました。蒸気機関車で全国的に有名な大井川鐵道です。

幼いころから、家の近くを走っている蒸気機関車に興味を持っていました。趣味の写真撮影のため、大井川鐵道の仕事場を見ることが多くあり、機関車への興味はやがて、SLの機関士に対する強いあこがれへと変わっていきました。

その夢の実現のために大井川鐵道という会社について調べました。どのような仕事をしているのか、働くために必要な勉強とは何か、仕事の内容はどんなものか。会社見学をしたときには、仕事の「責任」についても学びました。

される数学の問題は特に念入りにしました。面接についても何度も練習を重ねました。練習でも本番でも、頑張つて働いていきたいことや、なぜ大井川鐵道で働きたいのかなど、自分が思っていることを、自分の言葉で表現しました。

大きな喜び。そして
ここからが本番

たくさんの苦労がありました。だから大井川鐵道から内定通知が届いたときは、本当にうれしかったです。そして、ここからが本番だと意気込んだことをよく覚えています。

進路活動は長く、正直大変でした。でも決して、自分の力だけで希望する会社に入社できたわけではありません。その背景には多くの人の支えがあったのです。今は感謝の気持ちでいっぱいです。



幼いころからの夢である「機関士」になって、将来川根を支える一員になりたいと話す鈴木僚さん

時間をかけて調べ、勉強を続けていくことで、目指している仕事についてしっかり理解し、考える時間ができました。また、幼いころからの「夢」を持ち続けることが、とても大切なんだと実感しました。入社後は、地元・川根を支える一員になりたいと思います。

つれづれなるままに
編集後記

本号特集で取り上げた6人(団体)の人たち。皆さん師走の忙しい中、広報紙のために時間を作ってくれ、わたしのつたない取材に嫌な顔一つせず応じてくれた。紙面の都合で割愛した部分も多いが、心温まるエピソードがたくさんあった。本当にありがたかった。12月4日の市町対抗駅伝。本町代表として懸命にタスキをつなぐ選手たち。力走する姿を紙面に残したいと考え、各市町の広報担当仲間と連携して撮影にのぞんだ。大会後、全選手の写真が、あつという間に集まった。どの表情も素晴らしい。一人では絶対になし得ない「全区間撮影」が今年も達成できたことが何よりうれしい。広報紙も、いろんな人の支えによって成り立っていることを、改めて実感した。 小笠原聡

より良い品を より安く
オザワマート
11000ポイント交換は平成23年1月8・9日です
お酒・たばこの販売を始めました

- 土曜日・日曜日にオザワマートのプリペイドは1万円で10,600円に！ 600円お得です！（お酒・たばこの販売を始めました）
- 2,000円以上お買い上げの際、卵、砂糖などが100円になります

「引換券」 

交換期間 **1月20日(木)～1月29日(土)**

コピー不可 **茶娘ちゃんカード会**

「引換券」 

交換期間 **1月20日(木)～1月29日(土)**

コピー不可 **茶娘ちゃんカード会**

例年を上回る応募の中から

第3回静岡県景観賞の受賞7地区が11月18日に発表され、川根本町が応募した「大井川沿いの茶畑とS L」が優秀賞（静岡県建築士事務所協会賞）に選ばれました。

本年度は、例年を大幅に上回る192地区203件の応募があり、厳正な審査の結果、「大井川や山々の大自然と茶畑が織りなす風景が、大井川鐵道と美しく調和している」点が高い評価を得ました。

主催する美しいしずおか景観推進協議会は、「しずおかの美しさを守り、育て、創る」を目的に、県土の景観に関する啓発活動を展開するために創設された団体で、昭和63年には「静岡県都市景観賞」を制定し、毎年優れた都市景観を創出している地区などを表彰しています。平成20年度には「静岡県景観賞」と名称を改め、農山漁村や自然など、対象をより幅広く改正しました。

調和した景観は本町の誇り

表彰式は11月25日、男女共同参画センターあざれあ（静岡市）で開かれ、町を代表して佐藤町長が表彰状を受け取りました。

わたしたちが先人から受け継ぎ、大切に守り育ててきた本町ならではの美しい景観。今回、受賞地区に選ばれたことは、ここに生きるわたしたちにとっての大きな自信。次の時代を生きる子どもたちにこそ伝えていきたい「誇り」です。

企画課 ☎（56）2221

本町自慢の景観に、また一つの名誉が加わりました。

大井川沿いの茶畑とS L 第3回県景観賞優秀賞を受賞

第3回静岡県景観賞の受賞7地区が発表され、川根本町が応募した「大井川沿いの茶畑とS L」が優秀賞（静岡県建築士事務所協会賞）に輝きました
この町ならではの景観は、次の世代に伝えていきたい誇りです

写真は田野口地区で撮影した風景

this month
HighLight

今月の注目 4

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
（当院に初めて受診される方もご利用いただけます）

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
（休診日：水曜日、日曜日、祝日）

より良い品を より安く

オザワマート

営業時間・午前9時～午後7時
川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

平成23年1月8日☎・9日☎に交換できます。

11000ポイント引換券

1万円とこの券で11000ポイント販売いたします。
千円分お得です。最高2万円まで販売します。
この券を切り取ってお持ちください。 オザワマート

ギリギリセン

寸又峡の落ちない大石を見に行きましたよ。思ってたより大きかった！



緑のふるさと協力隊員
高瀬美智子の奮闘記⑦

み・す・し・る・べ

高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に1年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おいしいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う22歳。

あけましておめでとございます。

あつという間に1年が過ぎてしまいました。この時期になると毎年思うことですが、今年は特に早く過ぎていったように思います。

ちょうど1年前の今ごろ、本町に派遣されることが決まりました。あれから早9カ月。活動はあと2カ月ほどで終わりを迎えます。残り少ない時間を、より有意義なものにしていきたいと思います。

12月4日、市町対抗駅伝大会のスタッフとして現地で応援しました。たまにしか行けませんでしたが、練習にも参加していたんですよ。当然ですが、みんなすごく速いんですよ。「まだ走れるの」って思うくらいラストスパートしてるし、ずーっと同じペースで走り続けるし。本当にすごい。わたしはウォーミングアップだけでへとへとになってしまいうので、小学生にもついていきません。

みんなから「本町の代表なんだ」

という心の強さが伝わってくるようでした。とてもかなわないなあ。「わたしも頑張らなきゃ」と勇気もらった駅伝でした。

12月6、7日には、寸又峡の温泉供養祭・感謝祭に行きました。お母さんたちが作る鍋がおいしくて、全部一通りいただきました。わたしは猪鍋が一番好きだったかな。いっぱい食べて、そのあとは温泉も堪能しました。おかげで肌がうるつるすべすべです。

外森神社の「落ちない大石」を初めて見ました。行く前は「すぐ着くよ」と聞いていましたが、実際は山の途中にあり、急な階段をえっちらおっちら登りました。石は想像以上に大きくて、しかもちよつと浮いている感じがして不思議でした。どうして落ちないんだろう…。

自宅の畑のハクサイは小さいまま…。一人用として、ちよつど良く育ってくれたんです、きつと！

